



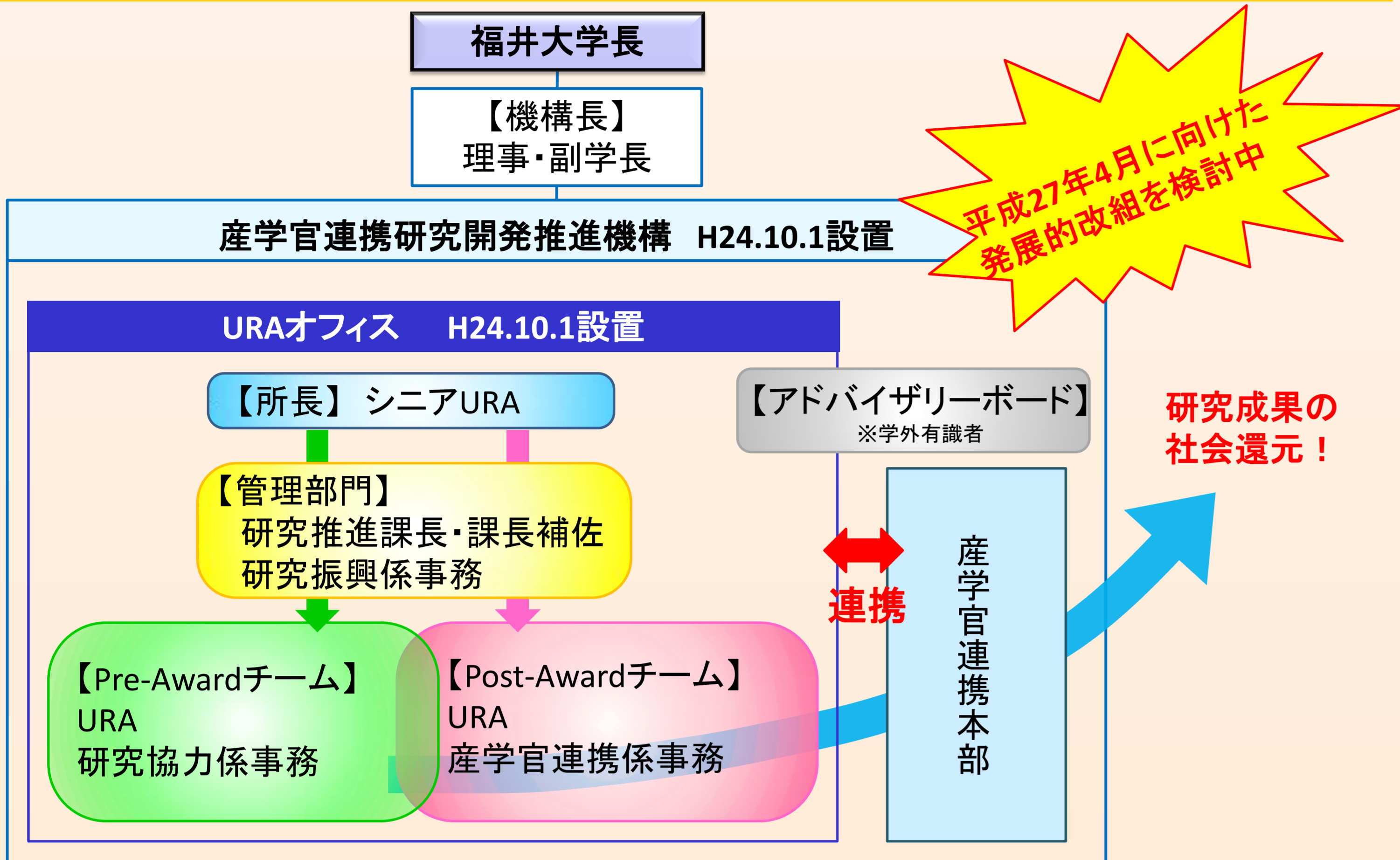
福井大学URAの特色と研究支援活動



支援体制の特色

福井大学は平成24年度文部科学省「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備(リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備:事業タイプ「地域貢献・産学官連携強化」)」事業に採択されました

★特色ポイント1 学長のリーダーシップの下、産学官連携本部及び事務との連携による研究高度化推進体制の整備



- ・学長のリーダーシップの下、理事を機構長とし、産学官連携本部と連携した産学官連携研究開発推進機構を設置
- ・福井大学URAオフィスは、産学官連携本部、研究推進課と協働
- ・アドバイザーボードによる外部評価制度を導入、実施
- ・研究推進課職員がURAオフィス職員を兼務

★特色ポイント2 地域金融機関との連携 株式会社福井銀行からの出向URAが在籍

- ・福井銀行をはじめ地域金融機関と協働し、地域企業向けにコンサルティング機能を発揮
- ・出向URAがコーディネーターと連携し、地域貢献・産学官連携強化に特化した活動を実施

★特色ポイント3 「第三の職」人事制度の確立

職種	職名	Level	本給表
URA (リサーチ・アドミニストレーター)	シニアURA	5	専門職
	チーフURA	4	
	URA	3	
	アシスタントURA	2	
昇格可能			
STAFF (事務職員)	課長～係員	1～4	一般職(一)
			異動可能

URA人事規定を制定!

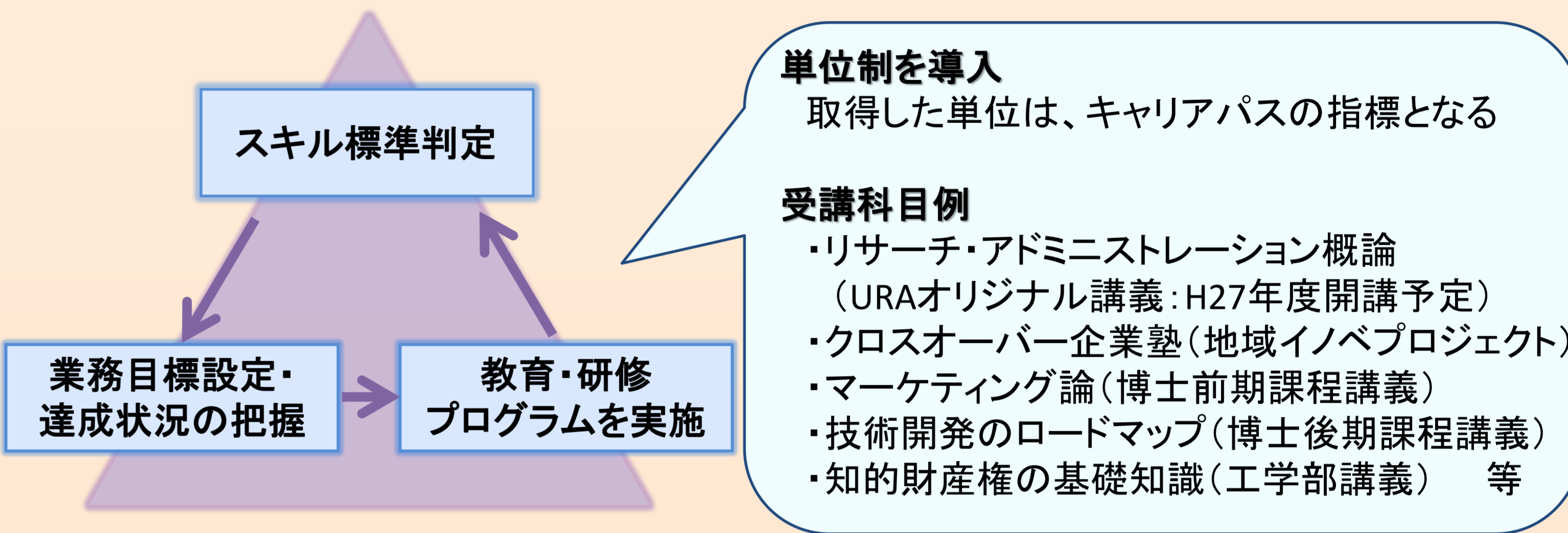
【職名】
・URA

【身分】
・常勤職員
(学内教職員・ポスドクからURAへの登用制度有り)

【待遇】
・専門職俸給表を新設
・昇格制度有り
・諸手当、社会保険、福利厚生、
・宿舍入居条件等は教職員と同じ

【任期】
・当初3年任期
・以後は審査の上、任期なしとする
・制度を検討中

★特色ポイント4 スキル向上のための単位制研修プログラムの導入、実施



研究支援活動・実績



《研究支援内容》

- 国策、産業界ニーズ・学内シーズの把握
- 競争的資金の情報収集・提供
- 研究プロジェクト形成支援、コーディネート
- 研究申請書作成支援、公募ヒアリング支援
- 全学方針のもと研究戦略案策定、研究企画
- 研究戦略支援データベースの構築 等
- 共同研究・受託研究契約・報告
- 研究プロジェクト事業計画作成支援
- 予算執行管理
- 奨学寄付金の受入れ
- 公的資金による研究プロジェクト管理
- 利益相反対応 等

《地域貢献活動 (地域企業支援)》

新ものづくり補助金申請書作成勉強会・相談会の開催、また銀行各支店が持つ企業ニーズを出向URAが仲介し大学研究現場につなげる等々

※産連本部協会会員の増加に貢献。近年200社を割っていたが、現在212社に増加

《研究成果の社会実装支援》

公的資金による研究活動のステージアップ、研究成果の社会還元を産学官連携本部と協働して実施。出口指向の研究支援活動を目指す

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」

ILF研究助成(試作機開発支援)のプロジェクト・アドミニストレーションをURAが担当。

技術移転活動支援

未踏分野、学際分野、重点分野にチャレンジする教員を積極的に支援。

例)国内展示会にURAと教員がともに参加。連携パートナーを探索。そこで得た情報をフィードバック。

《科研費の獲得支援》

都道府県別比較(伸び率上位10位)

都道府県	伸び率	平成25年度	平成22年度
福井県	17.2%	579	494
山梨県	14.5%	496	433
和歌山県	12.1%	445	397
埼玉県	10.2%	1,785	1,620
高知県	7.4%	511	476
栃木県	7.3%	706	658
千葉県	5.6%	1,310	1,240
京都府	5.6%	3,218	3,047
東京都	5.6%	15,023	14,232
大阪府	5.5%	4,687	4,443

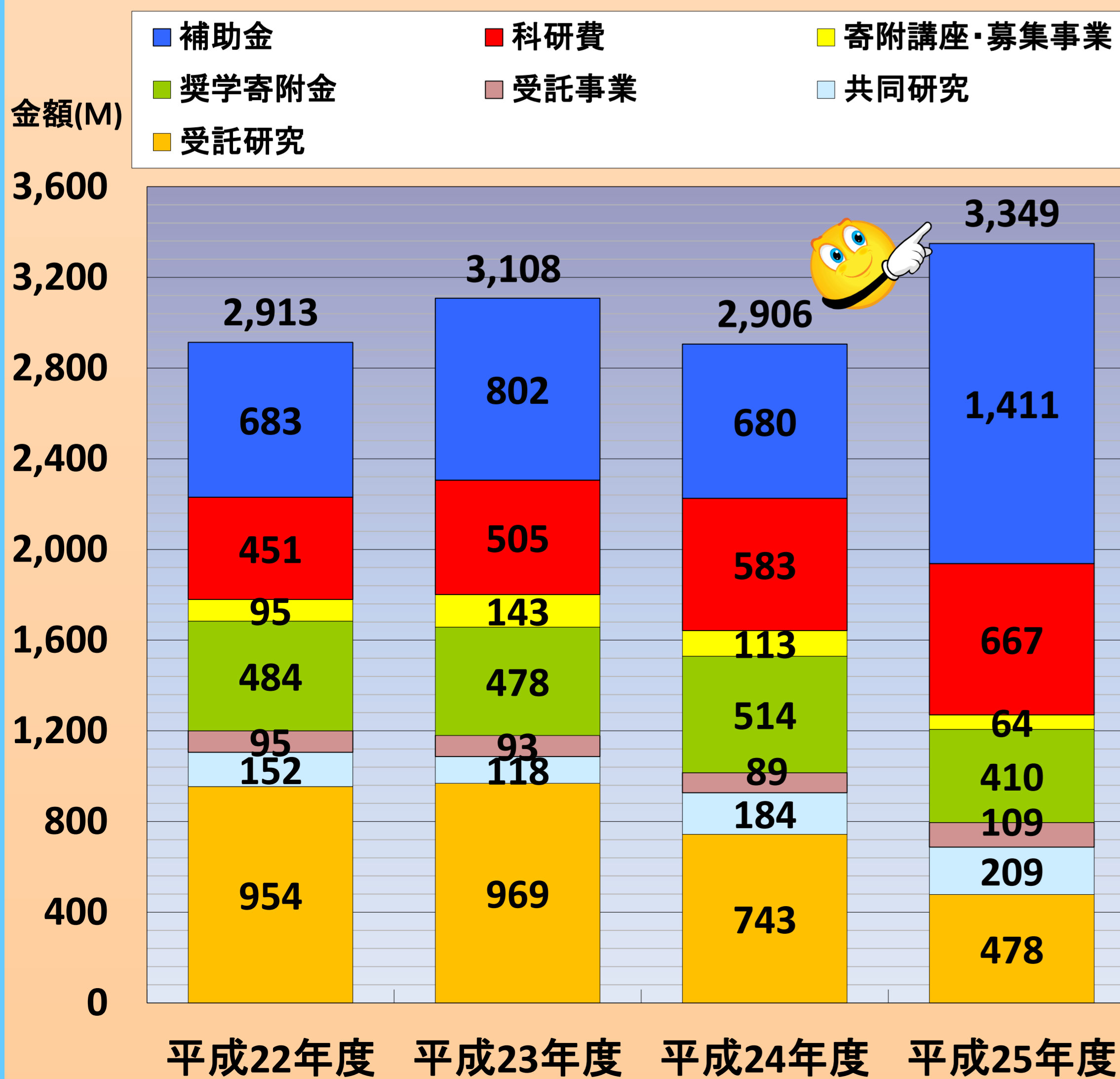
＜採択件数＞

都道府県	伸び率	平成25年度	平成22年度
福井県	78.5%	141	79
長崎県	67.4%	221	132
栃木県	64.4%	166	101
山梨県	60.8%	119	74
福島県	53.8%	100	65
沖縄県	50.7%	113	75
広島県	48.2%	483	326
神奈川県	47.9%	494	334
岩手県	46.8%	138	94
佐賀県	46.7%	88	60

平成22年度(URA設置前)⇒平成25年度(URA設置後)の伸び率が応募件数・採択件数・配分額とも福井県が日本一! (福井大学の貢献度約7割)

出典: 2014国立大学法人等部課長級研修(学術機関説明資料.p.13)より抜粋

《外部資金受け入れ状況の推移》



《採択後のプロジェクト支援》

【契約から書面報告】

- ・全て研究推進課事務職員(以下、事務職員)が担当
- ・とくに負担が大きい、10百万円以上の案件を担当、例えば、原子力研究開発、URA事業、CREST、さががけ、NICTなど

【プロジェクト進捗管理・評価対応】

- ・事務職員が契約ヒアリングや監査を対応
- ・URAが契約ヒアリングや監査に同席
- ・研究に係る専門的な経理関連の説明は教員が行う
- ・研究に係る専門的な経理関連もURAが直接交渉

【実施計画書および経理報告書作成】

- ・実施計画書は教員が作成
- ・申請書等資料を基にURAが実施計画書の大枠を作成
- ・経理報告書は、基本的には事務職員が作成
- ・使用目的等、研究関連項目は教員が記載
- ・経理報告書の研究関連項目もURAが申請書、報告書等を参考に記載。教員はチェックのみ

《URAオフィスによる研究支援満足度調査》

